

奥津湖カヌー体験スクール

期間

4月29日 ▶ 10月31日

定休日／毎週水曜日（事前予約が必要です）

料金

〔1人乗り〕 3,000円／1時間

〔2人乗り〕 4,000円／1時間

〔自艇持込〕 1名につき1回（時間制限なし） 1,000円

営業時間

午前9時～午後4時まで（カヌー体験は約60分）

対象年齢

1人乗り：小学3年生以上 / 2人乗り：5才以上（保護者同乗）

受付

みずの郷奥津湖ロビーにて、受付専用用紙に必要事項（氏名・住所・連絡先）を記入してください。

お申込み

みずの郷奥津湖 電話(0868)52-2225

奥津湖をカヌーでわたり、
風を感じながら、
鏡野町の
豊かな自然を満喫！



5/5(火・祝) 「富」昔ながらの田植え再現

場所：鏡野町富西谷 布施神社前田んぼ 11時30分～12時30分

牛を使った荒越しや代掻き、早乙女による田植えが再現されます。

13時30分からは、五穀豊穡を祈る「お田植祭」が布施神社で行われます。

お問い合わせ先：白賀川地域協議会（富振興センター内） 電話（0867）57-2111



館長のガラストーク

■新しい企画展

4月1日から新しい企画展が始まりました。今回はその中から岡本常秀さんと、水口智貴さんの作品をご紹介します。

岡本さんは2002年に湯郷に工房を構え、大規模な「ガラスのクリスマス」を主催するなど、活発な制作活動を行っています。今回の出品作は、動物の顔をガラスで作った「MASK」のシリーズと、孔雀の羽のような羽状文を施した大きな壺から成っています。一見するとどちらもガラスの作品には見えません。これは、作家自身がガラスの透明性を一旦消し去って、そこからかすかな透明性を覗かせ、ガラスの新たな魅力を引き出そうとしているからです。事実、羽状文の壺を上から覗き込むと、外の光が微かに内部に差し込んでいます。やきものとは違うガラス独自の特性が表れています。

倉敷の水口さんもやきものを思わせるアプローチを行っています。今回の出品作はすべて黒の素地に青味がかった模様が施されています。水口さんは「銀熔変」という言葉を用いていますが、これは恐らく、黒色の釉薬の表面に結晶による斑紋が表れ、その周りが瑠璃色に輝く中国建窯の「曜変天目」に由来すると思われます。

「曜変」の特徴は、「銀熔変茶碗」と「銀熔変水指」によく表れていますが、今回の出品作の主力は、様々な形の黒色の素地に流し掛けの釉薬のように模様が施された器です。器の形については、最近、全体のバランス、重心の位置、厚み、重さなどを考えながら制作しているということで、背の高いもの、低いもの、丸みのあるもの、細いものなど多様性に富んでいます。その表面に施された青味がかった模様は金属光沢を放ち、天の川のようにきらきらと輝いています。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造



岡本常秀「MASK」シリーズ
岡本常秀「纏時」シリーズ



水口智貴「銀熔変茶碗」
「銀熔変水指」



水口智貴「銀熔変花器」シリーズ

展覧会情報 現代ガラス5人展「変幻自在」-岡山の新しい風- 2015年4月1日(水)～2015年7月13日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888